

Assuring

Growth and

Success with IT.

ITで、確かな成長と成功を。

第25期 株主通信

2020年3月期 第2四半期報告書
(2019年4月1日～2019年9月30日)

AGS株式会社 
AGS CORPORATION

証券コード：3648



代表取締役社長 原 俊樹

株主の皆様には日ごろよりご高配を賜り厚く御礼申し上げます。また、この度の台風により被害を受けられた皆様に、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

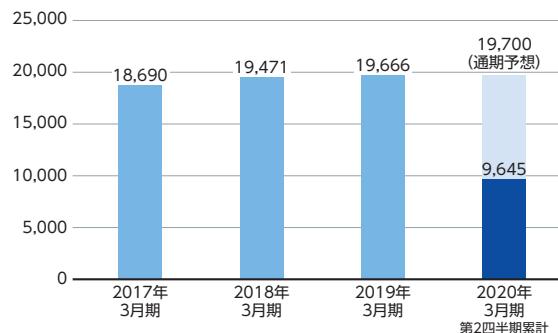
ここに、第25期第2四半期株主通信をお届けするにあたりご挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日）におけるわが国経済は、企業収益の堅調な推移や、設備投資の増加に加え、雇用・所得環境の改善が続くなど緩やかな回復基調となりましたが、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、海外経済の動向と政策に関する不確実性、金融資本市場の変動の影響などが懸念され、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが属します情報サービス産業においては、製造業や流通業、サービス業を中心にシステム更新需要が堅調に推移することに加え、デジタルトランスフォーメーションに向けた戦略的なIT投資の増加も見込まれており、引き続き堅調に推移していくものとみられます。

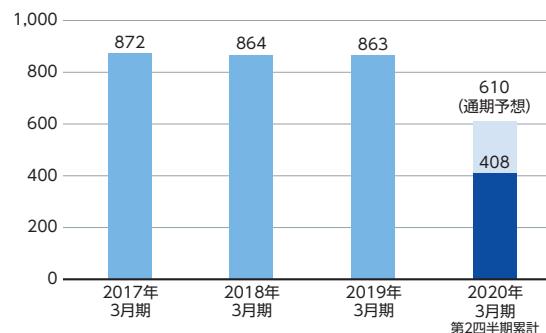
売上高

(単位：百万円)



経常利益

(単位：百万円)



このような経営環境の下、当社グループの長期経営計画「Challenge2021セカンドステージ」の3年目となる当第2四半期連結累計期間においては、データセンタービジネスを積極的に推進するとともに、「クラウドソリューション for AWS」の営業推進などSIビジネスの強化に取り組んでまいりました。

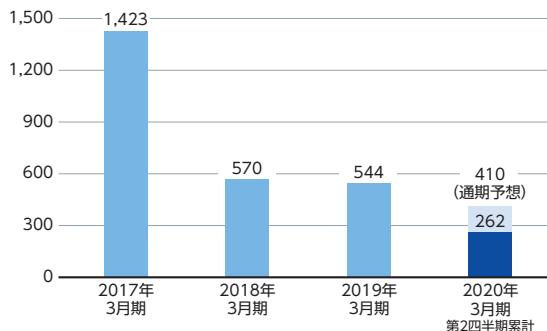
売上面では、情報処理サービス及びシステム機器販売の増収などにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は9,645百万円（前年同期比5.3%増）となりました。

利益面では、売上高の増加などにより、営業利益は376百万円（前年同期比28.7%増）、経常利益は408百万円（同22.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は262百万円（同23.3%増）となりました。

株主の皆様におかれましては、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年11月

■ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (単位：百万円)

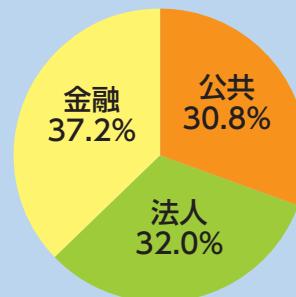


(注) 2017年3月期は、退職金制度の変更などにより、1,211百万円の特別利益を計上いたしました。

企業理念

お客様とともに未来を
創造し、ITで夢のある
社会づくりに貢献します

顧客基盤



バランスのとれた顧客基盤で安定した
収益構造を実現しています

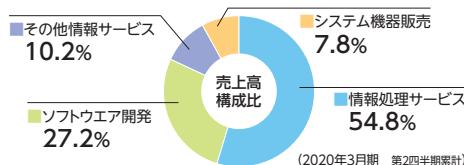
サービス内容



ITに関するコンサルティングから開発、運用まで
を一体的に、柔軟かつスピーディーに提供します

POINT

- 自治体向けIDC運用サービス案件の増加
- 消費税増税前の需要拡大に伴う、一般法人向け機器販売の増加



情報処理サービス



情報処理サービスでは、データセンターを基盤に、大型汎用機を中心とした受託計算サービスとデータ入力・印刷・デリバリー等の周辺業務を併せたトータルなサポートとしてIDCサービス、クラウドサービス、BPOサービスを提供しております。

自治体向けIDC運用サービス案件の増加などにより、売上高は5,286百万円（前年同期比5.2%増）、セグメント利益は、773百万円（同10.1%増）となりました。

ソフトウェア開発



ソフトウェア開発では、長年にわたるソリューション提供の実績とエンジニア経験を活かし、金融機関・公共団体・一般法人など幅広い業界・業種のお客様に対して、情報戦略策定支援等のシステムコンサルティングに始まり、アプリケーション・ソフトの受託開発やネットワークの設計・構築をトータルに提供しております。

金融機関及び自治体向けソフトウェア開発案件の増加などにより、売上高は2,620百万円（前年同期比0.4%増）、セグメント利益は351百万円（同17.2%増）となりました。

その他情報サービス



その他情報サービスでは、システムパッケージ商品の提供や導入支援サービス、情報セキュリティや事業継続マネジメントに関わるコンサルティングなどを提供しております。

金融機関向けパッケージソフト販売及び一般法人向け機器導入支援サービス案件の増加などにより、売上高は985百万円（前年同期比2.1%増）、セグメント利益は113百万円（同58.6%増）となりました。

システム機器販売



システム機器販売では、マルチベンダーとして特定のコンピュータメーカーに依存せず、お取引先の多様なニーズにマッチした最適なコンピュータ機器の選定・販売や、関連する周辺機器・備品、コンピュータ帳票の販売を行っております。

消費税増税前の需要拡大に伴い、一般法人向け機器販売が増加したことなどにより、売上高は753百万円（前年同期比34.8%増）、セグメント利益は25百万円（前年同期セグメント損失14百万円）となりました。

埼玉県下の自治体等と金融機関間の取引のデジタル化推進で協業を合意

株式会社NTTデータ及び株式会社埼玉りそな銀行との3社間で、埼玉県下の自治体等と金融機関間における取引のデジタル化推進に関する協業について合意しました。

具体的には、現在、自治体等が税公金納付や生活保護給付の公正性確保のため、金融機関に対し、書面であつ様々な様式で実施している「預貯金状況の調査」をデジタル化・統一化し、行政サービスのさらなる効率化及び最適化を図るものです。当社は、埼玉県下64の自治体のうち大多数の自治体に行政専用ネットワークを使用した「電子納品サービス」をご提供している強みを生かし、同サービスの活用を本スキームに組み込むことで、協業2社とともに取り組みを推進してまいります。

既に、本件取り組みの第一弾として、2019年8月より試行運用を開始（埼玉県川口市等）しており、今後、試行結果を踏まえつつ、埼玉県内の自治体等への本格展開を順次図っていく予定です。

当社は、今後も豊富なデジタル技術や、自治体等から様々な業務を受託する中で蓄積してきた経験・ノウハウを活かし、政府が目指すデジタル・ガバメントの実現を推進してまいります。

「中学生向けプログラミングキャンプ2019」の実施

ITが社会の必要不可欠なインフラとなる中、当社は、これまで高校生を対象に2回「プログラミングキャンプ」を実施し、大変好評をいただいております。2019年度は、小中学生の学習指導要領改訂などプログラミング教育の社会的 중요度の一層の高まりを踏まえ、対象を中学生にも拡大し、7月31日に「中学生向けプログラミングキャンプ2019」を実施しました。

当日は、さいたま市内の7校から16名の生徒の方が参加され、初心者向けの言語である「Scratch（スクラッチ）」を使用し、「コミュニケーションロボット『ロボホン』を動かす」「シューティングゲームを作成する」などの体験を通じてプログラミングの基礎を学んでいただきました。プログラミングを初めて体験された参加者も、講師役である当社社員に質問する等、熱心に取り組んでいました。

当社グループは、今後もプログラミングを学ぶ機会をご提供し、未来を担うIT人財の創出や地域社会への貢献に取り組んでまいります。



■ 連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度末 (2019年3月31日)	当第2四半期末 (2019年9月30日)
【資産の部】		
流動資産	7,515	7,391
固定資産	9,488	8,929
有形固定資産	5,666	5,418
無形固定資産	1,407	1,250
投資その他の資産	2,414	2,259
1 資産合計	17,004	16,321
【負債の部】		
流動負債	3,319	2,756
固定負債	1,868	1,657
2 負債合計	5,187	4,414
【純資産の部】		
株主資本	11,316	11,487
資本金	1,431	1,431
資本剰余金	506	506
利益剰余金	9,405	9,568
自己株式	△26	△17
その他の包括利益累計額	500	419
3 純資産合計	11,816	11,906
負債純資産合計	17,004	16,321

1 資産合計

受取手形及び売掛金が569百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末比682百万円減少して16,321百万円となりました。

2 負債合計

買掛金が248百万円、リース債務が230百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末比773百万円減少して4,414百万円となりました。

3 純資産合計

剰余金の配当97百万円の一方、親会社株主に帰属する四半期純利益262百万円の計上などにより、前連結会計年度末比90百万円増加して11,906百万円となりました。

■ 連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

科目	前第2四半期(累計) (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期(累計) (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	9,160	9,645
売上原価	7,166	7,453
売上総利益	1,994	2,192
販売費及び一般管理費	1,702	1,816
営業利益	292	376
営業外収益	67	54
営業外費用	24	21
経常利益	334	408
特別損失	4	5
税金等調整前四半期純利益	330	403
法人税、住民税及び事業税	89	113
法人税等調整額	27	26
四半期純利益	213	262
親会社株主に帰属する四半期純利益	213	262
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—

■ 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)

科目	前第2四半期(累計) (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期(累計) (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
4 営業活動によるキャッシュ・フロー	790	635
5 投資活動によるキャッシュ・フロー	△560	△168
6 財務活動によるキャッシュ・フロー	△349	△338
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△119	127
現金及び現金同等物の期首残高	3,359	3,617
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,240	3,744

4 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、得られた資金は、635百万円となり、前年同期より155百万円減少しました。

5 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、使用した資金は、168百万円となり、前年同期より391百万円減少しました。

6 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、使用した資金は、338百万円となり、前年同期より10百万円減少しました。

会社概要 (2019年9月30日現在)

商 号	AGS株式会社 AGS Corporation
設 立	1971年7月
上 場 市 場	東京証券取引所市場第一部 証券コード：3648
資 本 金	1,431百万円
事 業 内 容	情報処理サービス ソフトウェア開発 その他情報サービス システム機器販売
従 業 員	連結 1,012名
本 社	〒330-0075 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-3-25 TEL：048-825-6000 FAX：048-822-7337
浦 和 ソリューション センター	〒336-0027 埼玉県さいたま市南区沼影1-13-1 ナリア・テラス3階 TEL：048-839-5611 FAX：048-877-3500
連 結 子 会 社	AGSビジネスコンピューター株式会社 AGSプロサービス株式会社 AGSシステムアドバイザリー株式会社

役員 (2019年9月30日現在)

代表取締役会長	石 井 進
代表取締役社長 兼 社長執行役員	原 俊 樹
取締役 兼 副社長執行役員	藤 倉 広 幸
取締役 兼 常務執行役員	及 川 和 裕
取締役(社外)	森 谷 由美子
取締役(社外)	岡 田 博 之
取締役(社外)	馬 橋 隆 紀
取締役(社外)	川 本 英 利
常勤監査役	細 沼 弘 幸
監査役(社外)	白 田 憲 司
監査役(社外)	橋 本 光 男
監査役(社外)	杉 中 正 樹

株式の状況 (2019年9月30日現在)

① 発行可能株式総数	64,000,000株
② 発行済株式の総数	17,845,932株
③ 株主数	14,604名
④ 大株主	

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
AGS社員持株会	2,046,200	11.48
大栄不動産株式会社	1,280,000	7.18
富士通株式会社	1,200,000	6.73
富士倉庫運輸株式会社	1,000,000	5.61
株式会社りそな銀行	800,000	4.49
株式会社ティー・アイ・シー	600,000	3.37
埼玉県民共済生活協同組合	600,000	3.37
千葉県民共済生活協同組合	480,100	2.69
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	413,700	2.32
武州瓦斯株式会社	401,000	2.25
第一生命保険株式会社	400,000	2.24
株式会社KSK	400,000	2.24
兼松エレクトロニクス株式会社	400,000	2.24

(注) 持株比率は自己株式(19,452株)を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

定時株主総会基準日 3月31日

剰余金の配当基準日 期末配当 3月31日
中間配当 9月30日

単元株式数 100株

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

郵送物送付先 〒183-0044
及 び 東京都府中市日鋼町1-1
電話照会先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
☎ 0120-232-711 (通話料無料)

公告方法 当社ホームページ (<https://www.ags.co.jp/>) に電子公告により掲載します。なお、電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

お取扱窓口 お取引の証券会社等
未払配当金のお支払 三菱UFJ信託銀行株式会社
本店及び全国各支店

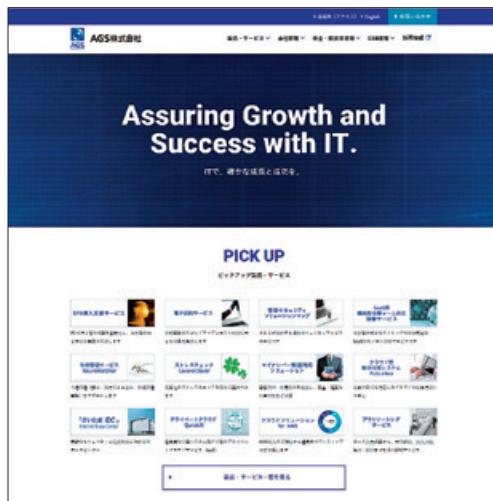
ホームページのご案内

<https://www.agcs.co.jp/>



QRコード

トップページ



当社のホームページでは、会社概要・事業内容をはじめ、ニュースリリース、IR情報などがご覧いただけます。ぜひアクセスしてみてください。

トピックス・IRニュース



製品・サービス



株主・投資家情報



株主優待制度

対象となる株主様	優待の内容	発送時期
3月31日現在の株主名簿に記載された100株（1単元）以上を保有する株主様で、一年以上継続保有する株主様	VJAギフトカード 1,000円分	6月頃
9月30日現在の株主名簿に記載された100株（1単元）以上を保有する株主様で、一年以上継続保有する株主様	QUOカード 1,000円分	12月頃

※継続保有1年以上とは
毎年3月、6月、9月及び12月の各末日の当社株主名簿に、同一株主番号で継続して5回以上記載された株主様を株主優待贈呈の対象といたします。

電話照会先
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
☎ 0120-232-711（通話料無料）



AGS株式会社

埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-3-25
TEL : 048-825-6000 FAX : 048-822-7337
<https://www.agcs.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。